

2019年度フランス政府奨学金「BGF Partenaire」募集要項

I. 応募条件

(1) 募集専攻分野

●Licence(学部)課程

ー理系（科学・技術・工学・数学）

理系分野の場合、学部生は BGF パートナーには応募できません。

ー文系（人文社会科学）

文系分野の場合、渡仏の段階で、日本の大学の学部2年生以上である必要があります。

○学部の2年生以上で、フランス政府の優先分野（下記）の学部¹に在籍する学部生は応募が可能です。

1. 政治学、国際関係
2. 法学
3. 経済学、経営学

○学部の2年生以上で、上記の3つ以外の分野（フランス語学・文学など）の学部²に在籍しているが、留学先ではフランス政府の優先分野（下記）を勉強する学部生は応募が可能です。

1. 政治学、国際関係
2. 法学
3. 経済学、経営学

●Master または Doctorat 課程

Master および Doctorat 課程の学生は文系・理系のすべての分野で応募ができます。

○文・理系それぞれの分野の内訳（すべてを網羅はしていません）

文系	理系
<ol style="list-style-type: none">1. 言語学・文学 フランス文学、翻訳・会議通訳、言語学、フランス語教授法、教育学、哲学2. 法学3. 人文社会科学 歴史学、考古学、地理学、社会学、人類学、人口学、神学、心理学、精神分析学	<ol style="list-style-type: none">1. 数学、物理、化学2. 地球科学、海洋科学、農学3. 工学4. 医学、生命科学5. 都市工学（都市空間整備、建築）

<p>4. 芸術・文化 アート・マネジメント、美術史、博物館学、映画研究、演劇研究、音楽研究</p> <p>5. 経済・政治 政治学、国際関係、経済学、経営学、ジャーナリズム</p>	
---	--

(2) 年齢制限、国籍、健康

- 1989年1月1日以降出生の者。
- 日本国籍または日本永住権取得者であって二重国籍を持たない者。
- 心身共に健全な者。

(3) フランス語の語学力

●**文系**

- フランス語の語学力を証明する TCF、DELF、DALF のいずれかの合格証が必要。
- 仏検は不可。

●**理系**

- フランス語のプログラムで留学する場合は、授業を理解できるフランス語力を証明する必要がありますが、検定の合格証などは不要です。
- 研究所において研究滞在をする学生の場合、英語力を証明できればフランス語力は求められません。
- 英語のプログラムで留学する場合、フランス語力は求められませんが、高い英語力を証明する必要があります。

(4) 奨学金についての規定

応募者は必ず BGF Partenaire 以外の一つの奨学金（大学独自の奨学金、または日本学生支援機構（JASSO）の奨学金、その他）の受給者であることが必要。

現在 BGF の給費生である者と過去に給費生だったことのある者は、大学の更に上級のレベル（Licence の学生であれば Master。M2 の学生であれば Doctorat）を志望するのであれば、改めてフランス政府給費に応募することが出来ます。

(5) 2019 年秋よりフランスへの留学（フランス語または英語プログラムでの留学）が決定している者。

II. 給付内容

1. 社会保険給費（月額 110 ユーロ）
2. フランス政府給費 BGF 運営費
3. キャンパスフランスの Etudes en France 登録費及びビザ申請費免除（総額約 27,000 円）
4. 学生寮の優先紹介
5. 大学登録料の免除（協定校以外に留学の場合）
6. FRANCE ALUMNI への登録受け入れ
7. 日本-フランス間往復航空券
8. キャンパスフランスによるフランスでの給費生のケア

給付期間：最短 4 か月、最長 10 か月

III. 応募方法

1. 応募書類

	選考書類	文系規定	理系規定
1)	履歴書	日仏語の履歴書（和文は必須。仏文はなくてもよい）	和文と英文、または仏文
2)	研究・留学計画書	和文と仏文（英語のプログラムの場合は、和文と英文）でそれぞれ 1 ページ。	和文と、（英文または仏文）でそれぞれ 1 ページ。
3)	語学力を証明する書類	TCF または DELF/DALF のディプロムのコピー	不要
4)	大学以降の学業成績証明書（和文）		
5)	大学独自、または JASSO 等からの奨学金を受給することを証明する書類(和文と英文)		

応募者が協定校以外への留学を希望する場合

6)	承諾書* (Licence または Master 1)	Licence または Master 1 課程への留学志願者は、フランスの学校（大学等）への受け入れを証明する何らかの文書（または証明書）を提出してください。
----	---------------------------------------	---

	承諾書* (M2 または Doctorat)	M2 または Doctorat 課程への志願者はフランスで指導を希望する教官あるいは研究者から受け入れ承諾書を入手してください。和訳は不要。	
			Doctorat 課程への志願者は大学院が求める必要な条件に注意してください。

*承諾書はオリジナルであること、承諾者が所属する機関名入りの用紙に、日付、承諾者の氏名、役職、連絡先が明記され、署名入りでなければなりません。

2.締切日

2019年5月10日(金) 12時(正午) ※締切厳守

3.提出場所

埼玉大学国際室窓口

※学生個人がフランス大使館に直接応募することは認められません。

4.選考フロー

学内選考により最終候補者及び補欠者を決定 (5月中旬～下旬)

↓

在日フランス大使館での最終面接 (6月中旬～下旬頃予定)

↓

合格発表 (最終面接後1週間以内)

↓

合格後の書類送付 (2019年7月10日締切)

IV.注意事項

本奨学金は、埼玉大学内の応募人数が3名以上でなければ選考を進めることはできません。

応募後に選考不可となる可能性があることを了承の上、応募してください。

<問い合わせ先>

埼玉大学 国際室

E-mail: ryugaku@gr.saitama-u.ac.jp

Tel: 048-858-9061